特集にあたって

織田　聡

1 補完医療と西洋医学の間で

補完医療に関する情報は混沌の極みです．新聞や雑誌で大きく取り上げられ，中立公正な情報なのか，偏狭な主張なのか，それとも商業的広告なのかはっきりしないままの不確かな情報が患者さんに届けられています．そのような補完医療を詐欺だ偽医学だと非難する報道が注目されたかと思えば，西洋医学を否定するような情報も根強く発信され，まるで一種の宗教戦争であるかのような論争が紙面を賑わせています．情報が錯綜するなかで，いったい何を拠り所に患者さんは病気と対峙しているのでしょうか．

30年前，私はこの問題を強く意識せざるをえない出来事を経験しました．父の闘病と死です．当時はがん患者への病名告知が一般的でなかったため，父は疑心暗鬼のなか，不本意ながら補完医療を頼らざるをえないところへ追い詰められていきました．そして，最後は後悔して死んでいったのです．

当時は「患者中心」であるとか，「説明と同意」であるとか，「医療情報の非対称性」であるとか，「リテラシー」などという言葉はありませんでした．父の頃と比較すると，技術以外の側面でも医療はずいぶんとよくなったように思えます．でも未だに西洋医学と補完医療の間隙は埋められることはなく，むしろ深く酷くなっているように感じるのです．

読者の先生方も，過去に1人や2人は「どうして理解してもらえないのか」と，もどかしく感じる患者さんを担当したことがあると思います．補完医療に傾倒した患者さんの価値観を尊重しつつ，医師の責務を果たすのは非常に難しいことです．われわれ医師は，補完医療を否定したり知らぬ存ぜぬで不関知を貫くことで，責任回避，保身的になっていることはないでしょうか．

2 補完医療を利用する患者さんを理解し，対応していくために

今回の特集では，統合医療や補完医療を取り扱いますが，補完医療の効果の有無についての検証を目的としていません．現に多くの患者さんに利用されている補完医療の現状を少しでも理解できるように，そして，そんな補完医療を利用している患者さんを担当する場合に，われ

われがどのように対応し，補完医療提供者と連携していけばよいのか，手がかりとなるような内容をめざしました．

総論では，補完医療を知るうえで重要な「統合医療」についてその定義を編者の織田が解説をしました．非常に誤解が多い概念なので，よくある誤解を取り上げて整理しました．統合医療の情報収集については，大阪大学の大野 智 先生にお願いをしました．大野先生は厚生労働省の“「統合医療」情報発信サイト”編集の中心的役割を担っている先生です．続いて，過去の判例も考慮しながら，自然科学的にナンセンスな治療を患者さんが希望した場合の行動指針を織田が示しました．

各論では，食事療法について読谷村診療所の多鹿昌幸 先生にお願いしました．食事療法は世界中で多種多様な方法が提言されていますが，特に日本でよく知られているマクロビオティックを中心に医師の行動指針を提示していただきました．漢方薬は日本では多くの処方（生薬）が保険適用となっていますが，欧米では鍼灸とあわせて補完医療として利用されています．漢方と鍼灸については，金沢大学の小川恵子 先生と，はり灸夢恵堂の鍼灸師である津田昌樹 先生に解説をお願いしました．賛否両論の多いサプリメントや健康食品についてはDHC研究顧問である蒲原聖可 先生に利用の現状とエビデンスについて解説していただきました．

忌避されがちな，がん患者さんに対する補完医療については，実際の臨床で取り入れている健康増進クリニックの水上 治 先生に執筆いただきました．読者の皆さんに現状を少しでも知っていただけるように，がん患者さんはどのような補完医療を求めて来院するのかまとめていただきました．そして各論の最後は，精神科の患者さんが利用しうる補完医療について大阪大学の林 紀行 先生にまとめていただきました．

付説では，富士山麓で地域医療と滞在型養生施設を展開されている山本竜隆 先生に田舎における統合医療のモデルを紹介していただきました．また，多職種連携における種々の療法とのつきあい方について，小池統合医療クリニックの小池弘人 先生に論じていただきました．そして，これから統合医療について学びたいと思われた方のために，その方法について名古屋大学の伊藤京子 先生に紹介していただきました．

寄稿も総合診療の現場で活躍されている先生方に寄せていただきました．三重大学の竹村洋典先生，宮崎大学の吉村 学 先生，名古屋大学の佐藤寿一 先生，神戸大学の平井みどり 先生，この場を借りて御礼申し上げます．

今回の特集は「Gノート」としても果敢な企画だったと思います．誤解がないよう，企画を進めるうえで最大限努めましたが，ぜひとも，この企画の真意を汲んでいただき，日々の臨床に生かしていただければ幸甚です．

プロフィール
織田　聡　*Satoshi Oda*
一般社団法人 日本統合医療支援センター 代表理事
医学博士，医師，薬剤師
アリゾナ大学統合医療プログラムフェロー
日本内科学会認定医，日本東洋医学会専門医，日本統合医療学会認定医
1996年3月富山医科薬科大学薬学部薬科学科卒業，1997年3月中和鍼灸専門学校中退，2004年3月富山医科薬科大学医学部医学科卒業，2008年1月アリゾナ大学統合医療アソシエイトフェローシッププログラム修了